

p.1 L↓6

(誤) 企業において生産活動の...

(正) 企業においては生産活動の...

p.18 Q1

(誤) 0.1 mg L⁻¹

(正) 0.08 mg L⁻¹

(誤) 0.08 mg L⁻¹

(正) 0.07 mg L⁻¹

p.39 L↑8

(誤) 表 2-3

(正) 表 2-4

p.40 L↑3

(誤) なっている点異なる。M...

(正) なっている点異なる。表 2-5 にその一覧表を示す。M...

p.55 L↓3

(誤) (濃度) x (活量計数)

(正) (濃度) x (活量係数)

p.55 L↓4

(誤) 活量計数

(正) 活量係数

p.86 L↓3

(誤) (図 4-1)

(正) (図 4-1、図 4-2)

p.88 表 4-1 中

(誤) epeatability

(正) reperatability

p.89 表 4-2 中

(誤) epeatability

(正) reperatability

p.90 表 4-3 中

(誤) repeatability

(正) reperatability

p.90 第一パラグラフの後に (表 4-2) を挿入

p.91 第一パラグラフの後に (表 4-3) を挿入

p.92 第一パラグラフの後に (表 4-4) を挿入

p.94 L↓8

(誤) 整数

(正) 自然数

p.99 L↓5

(誤) 3.1

(正) 4.2

p.99 L↓2

(誤) なお、濃度表記に関しては、国内用の報告書は計量法準拠、国外用のそれは SI や IUPAC との整合を図りつつある JIS に準拠する、と使い分ける...

(正) なお、濃度表記に関する齟齬については、国内用の報告書は計量法に準拠し、国外用のそれは SI や IUPAC と整合性のある JIS に準拠する、と使い分けて記載する...

p. 111 L↓4

(誤) すなわち F により....

(正) すなわち F 検定

により....

p. 111 L↓7

(誤) 基準値との差が言う有意....

(正) 基準値 μ との差が有意....

p. 111 下式の左辺

(誤) (48.9-50.4)

(正) |49.8-50.4|

p. 111 下式の右辺

(誤) 0.94

(正) 0.99

p. 112 L↓2

(誤) 0.94

(正) 0.99

p.116 表 5-3

(誤) 信頼水準と記載された欄に Q_{90} と書かれている

(正) 信頼水準と記載された欄の Q_{90} を削除

p. 122 下式の左辺

(誤) $(0.070-0.080)$

(正) $|0.070-0.080|$

p. 123 L↑2

(誤) $(0.070-0.080)$

(正) $|0.070-0.080|$

p. 124 L↓2

(誤) どちらもより大きい

(正) どちらも 0.97 より大きい

p. 133 L↓5

(誤) 機器となっている。

(正) 方法となっている。

p. 133 L↓7

(誤) 考えていただきたい前二者....

(正) 考えていただきたい。前二者....

p. 140 L↓1

(誤) 特性を以下に整理した。

(正) 特性を表 6-1 に整理した。

p. 140 L↓3

(誤) ...についてもその特徴を整理した...

(正) ...についても表 6-2 にその特徴を整理した.....